

1 月 定例記者懇談会次第

と き：令和6年1月11日(木)

11時00分～

※みなと銀行地域貢献ファンド寄贈式終了後

ところ：丹波篠山市役所本庁舎・301会議室


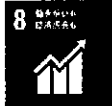

1. 開 会

2. あ い さ つ

3. 発 表 内 容

- ① Welcome Tambasasayama! (海外へのPRを行っています)について
(観光交流部 国際博担当)
- ② 篠山イノベータズスクール2024年度募集について(一般社団法人 丹波篠山キャピタル)
- ③ 丹波篠山の黒大豆の歴史を詳細に著した本「日本農業遺産になった丹波篠山の黒大豆」の出版について(農都政策課)
- ④ 丹波篠山市民ミュージカル 第11弾「ノートル=ダム・ド・パリ」稽古一般見学について(田園交響ホール)
- ⑤ 第22回「安全・安心な丹波篠山をつくる」市民の集いについて(地域振興課)
- ⑥ 丹波篠山市多文化共生推進基本方針(案)のパブリックコメント募集について(地域振興課)
- ⑦ 高校野球200年構想に基づく ベースボールクリニック in 丹波篠山の開催について
(社会教育課)

4. 閉 会

本件が該当する目標		 
-----------	---	--

記者発表票（記者発表）			
発表年月日	令和6年1月11日	担当地方機関	丹波篠山市
電話番号・内線	079-552-6907 内線450	担当課	観光交流部国際博担当
広報担当者 (発表者)	観光交流部国際博担当課長 工藤 智香子	事務担当者	観光政策官 東田 芳博
同時発表先	無		
件名	Welcome Tambasasayama! (海外へのPRを行っています)		

見出しにつきまして、訪日外国人の誘致、また令和7年度開催予定の丹波篠山国際博に向けて、様々な広報活動を行っていますが、今回、下記の事業に取り組みましたのでご報告いたします。

報道各社様におかれましては、広くご紹介賜れますと幸甚に存じます。

なお、今後におきましてもこうした取り組みについてご報告いたしますので、国際博ならびに丹波篠山市の盛り上げにご協力賜りますようお願いいたします。

記

■ 国際参加国会議（IPM2023年秋）エクスカージョン

日程：令和5年11月16日（木）

内容等詳細は、別添資料をご参照ください。

■ 映像コンテンツを活用した地域情報発信に関する実証事業（総務省事業）

令和5年度総務省の上記事業に応募し、選定されました（全国25地区選定）。事業の内容としては、丹波篠山のPR映像を作成し、オーストラリア、ニュージーランドにおいて配信及びインターネット上で配信。事業の詳細は、別添資料をご参照ください。

・情報発信主体名：丹波篠山市、映像制作者：株式会社毎日放送

・企画概要：伝統的な城下町や四季折々の田園風景、古民家宿泊や陶芸など「日本の原風景の体験」を紹介することで、知的好奇心に訴求し、海外からの観光誘客につなげる。

去る11月28、29、30日に市内各地でロケを行い、12月中旬に編集が完了。去る1月8日から公開しております。

【標題】

2025 年日本国際博覧会「International Participants Meeting(国際参加者会議)2023Autumn」のエクスカージョンが丹波篠山市で実施されました。

【本文イメージ】

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会は、11月14日、15日に、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)への参加を表明している国・地域や国際機関を対象とした「International Participants Meeting(国際参加者会議、以下「IPM」とします。)2023 Autumn」を開催しました。

その後、11月16日にはIPM参加者に大阪・関西地域への理解を深めてもらうためのエクスカージョン(現地視察)が実施されましたが、この視察先の一つに丹波篠山市が選ばれ、12名のIPM参加者が、重要伝統的建造物群保存地区「河原町妻入商家群」で由緒ある街並みを視察、まち歩きを楽しみながら王地山「まけきらい稲荷」では日本の神社にも興味津々、全員で参拝しました。



(写真)河原町妻入商家群を視察



(写真)まけきらい稲荷にて集合写真

そして、日本遺産に認定されているデカンショ節を青山歴史村・デカンショ館で見学、優雅な盆踊りを見てから皆さん手ほどきを受けて総踊り、日本文化を習得して参加者全員「2025年万博会場でもみんなで踊ろう！」と盛り上がりました。



(写真)デカンショ節総おどり



(写真)2025 万博会場でもみんなで踊ろう！

散策と踊りでおなかもペコペコ、昼食は特産館ささやまの「すきやき御膳」に舌鼓、すきやき人気もさることながら、皆さんごはんを「おかわり、おかわり」と店員さんは大忙し。さすが舌が肥えていらっしゃる「東の魚沼、西の丹波篠山」の「農都のめぐみ米」に大満足頂きました。

午後は、日本遺産「日本六古窯」の一つ「丹波焼」の視察で、丹波立杭陶磁器協同組合が運営する丹波伝統工芸公園「陶の郷」を訪問、市野理事長から850年の丹波焼の歴史を伺いながら展示作品にも興味津々、そして丹波焼の登窯では参加者から多くの質問を頂き工芸への関心の高さを感じました。

ユネスコ創造都市ネットワークに加盟する丹波篠山市、日本の美しい農村の魅力を参加者は五感で満喫頂き熱心な視察は少々時間オーバーしつつ帰路につかれました。



(写真)丹波焼陶の郷視察



(写真)丹波焼登窯視察

1日じゃ物足りない丹波篠山、また2025年万博プラス丹波篠山でお越し頂けるのを楽しみにお待ちしております。

大阪・関西万博の開催にあたり、より関西の魅力を理解いただくために、丹波篠山市は「2025 丹波篠山国際博 日本の美しい農村」を開催、万博&国際博で国際交流を推進してまいります。

国際参加者会議 2023年秋 開催報告



開催概要

- 名称：IPM 2023 Autumn (International Participants Meeting)
(日本語名称：国際参加者会議2023年秋)
- 日程：11月14日(火)、15日(水) ※11月16日(木)に関西広域でのエクスカーションを実施
- 会場：大阪府立国際会議場(OICC)
- 参加者：公式参加者 約500名(約150カ国・7機関の国際博覧会責任者)

主なプログラム

- 万博テーマに理解を深めるための特別セッション
- バビリオンの内外装や展示工事、運営準備、催事の計画などの各種ガイダンスと質疑応答
- 様々な分野での個別相談窓口、ワンストップショップの開設



参加者代表集合写真(11月14日)

掲示しているバナーは、公式参加者の発案により、参加者全体で一丸となったメッセージを発信するために作成

International Participants Meeting 2023

エクスカーション 開催報告



- 本会議翌日、公式参加者の大阪・関西地域への理解を深め、その魅力発信につなげるべく現地視察を実施。
- 関西広域の自治体・団体からの協力を得て、大阪府内および近隣府県へ15のコース(下記一覧)を用意。観光・文化の体験プログラムに加え、オープンファクトリー・研究施設視察や地域との交流など幅広く企画。

WAKAYAMA	1	Wakayama Wonders: Kōyasan's Spiritual Journey and Zen Experience	OSAKA	8	From Origami to Urban Revitalization: Unveiling Osaka's Brilliance
	2	Kobe's Resilience Journey: From Sake to Safety - A Sustainable Excursion Tour		9	Noh to Know-How #A: Blending Tradition and Technology at PLAZA21 Osaka
HYOGO	3	Awaji's Natural Marvels: Whirlpools and Earthquake Insights	SHIGA	10	Noh to Know-How #B: Showcasing Excellence at the DNP Showroom Osaka
	4	UNESCO Creative City Tamba Sasayama: Castles, Culture, and Craftsmanship		11	Eco-Wonders in Izumisano: Towels, Fibers, and Upcycled Creation
NARA	5	Crafting Nara's Heritage: Carpentry and Culture	KYOTO	12	Lake Biwa Odyssey: From Tranquil Waters to Enlightening Wonders
	6	Nara's Artful Revival: Sculptures, Skills, and Somen Noodle		13	Innovation, Tradition, and Tranquility: A Kyoto Expedition
	7	From Innovation to Tradition: Exploring Osaka's Prosthetic Limbs and Nara's Tea Whisk Craftsmanship		14	Discovering Keihanna Science City: From Research to Zen Gardens
				15	Innovation Unveiled and Tradition Revived: A Day in Kyoto

+ 当日の受け入れに向け、コース提案をいただいた自治体・団体とも連携したメディア発信を通じ、機運醸成を企画

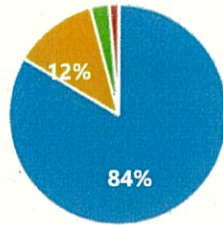
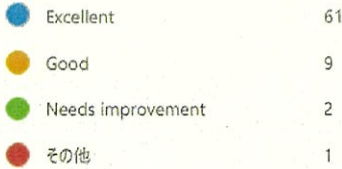
International Participants Meeting 2023

エクスカージョン 参加者アンケート結果（全体）

● 実施後の参加者向けアンケートでは、回答者の9割以上が高評価（Excellent, Good）を選択。

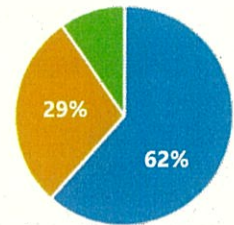
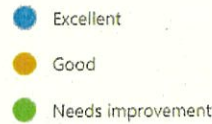
How was the tour overall ?

N=73



How was the lunch ?

N=73



主なコメント

評価点

- ✓ It was very beautiful and the staff were extreme friendly and helpful. It was a great experience to get to know a bit more about Japan.
- ✓ Quite a refreshing experience and the hosts of all institutions that received us were very pleasant. The interactions were quite enlightening
- ✓ Excellent excursion. Really enjoyed and appreciated this whole experience.
- ✓ Tour guide must brief us the schedule of the tour. How many minutes of walk and so.
- ✓ Better English explanations
- ✓ Be careful to the traffic jam to come back to the hotel. I think it was better to leave in last at 4pm to arrive to the hotel before 17h30.

改善点



エクスカージョン コース別報告書

協力先

近畿経済産業局 / 丹波篠山市

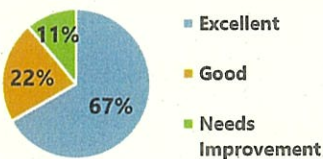
コース名

HYOGO

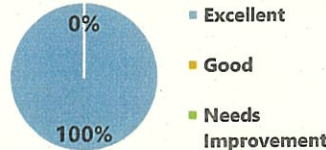
4 UNESCO Creative City Tamba Sasayama: Castles, Culture, and Craftsmanship

● 参加者アンケート結果 参加者数12名 / 回答数9名（回収率75%）

How was the tour overall?



How was the lunch?



Which of the visits did you enjoy the most?



コメント欄への主な記載

- ✓ Very exciting - thank you very much for your great arrangements!
- ✓ I would love to come again and learn about the forest management
- ✓ Tour guide must brief us the schedule of the tour. How many minutes of walk and so. The walk through the old town would be better if more details are given during that walk

参考：英語ガイドのフィードバック

- ◆ 欧米からの参加者は、歴史的な街並みに大変興味を示されていた。
- ◆ デカンショ館では、デカンショ踊りを全員で体験し、とても楽しんでおられた。
- ◆ 昼食のすき焼きは、皆さん気に入られていた。
- ◆ 立杭陶の郷では、熱心に見学される方が多く、質問も多かった。



本事業の公募申請に係る要件・制作するコンテンツ等の概要

○ 本事業では、事務局が確保した以下の情報発信媒体において、定められた要件に従って情報発信することを希望する申請者を募集します。申請に係る主な要件や制作するコンテンツ等に関する概要*は以下のとおりです。
 *公募内容の詳細につきましては、今後、事務局から公表される公募要領等をご確認ください。

公募申請に係る主な要件

- 当該地域に根ざした情報発信主体が申請することとし、**必ず情報発信主体1団体**（個人及び民間企業の申請は不可）と**映像制作者1団体**（個人は不可）が含まれる体制を構築すること。
- **情報発信主体は、海外にPRしたい地域資源が具体的に定まっており、海外展開のターゲット国・地域としてオーストラリア（豪州）またはニュージーランドへの展開が含まれていること。**
- **申請団体は、原則、各総合通信局等の地域ブロック内*での体制とすること。**
*ただし、地域特有の事情がある場合は、例外として地域ブロックを超えた体制も認めることとします。

情報発信媒体・制作コンテンツ等に関する概要





実証国	オーストラリア（豪州）、ニュージーランド
情報発信媒体 （放送・動画配信サービス）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 放送 豪州：Discovery Channel AU（1映像あたり30回放送） ニュージーランド：Discovery Channel NZ（1映像あたり15回放送） ■ 配信 Discovery公式YouTubeチャンネル*（1映像あたり約68,000インプレッション） *Discovery Channel AU/NZの公式チャンネルを中心に、豪州・NZの視聴者のみに配信。
制作するコンテンツ	<p>【短編】30秒（実証国配信用）及び90秒（実証国放送用） 各1種 【本編】2～3分程度（申請者Webサイト掲載用） 1種</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 必要に応じ、事務局・情報発信媒体（Discovery）にてナレーションの英語字幕を作成。 ➢ 最終成果物は総務省に帰属*するため、出演者・音楽等の権利処理にはご注意ください。 <small>*本事業終了後、総務省と協議のうえで情報発信主体及び映像制作者による映像の活用は可能とします。</small>
放送・配信時期	2023年12月～2024年2月（順次放送・配信）

令和5年度「映像コンテンツを活用した地域情報発信」実証事業 選定結果一覧

ブロック	No	上段：情報発信主体名 下段：映像制作者名	企画概要
北海道	01	北海道上川郡東川町	大雪山系旭岳の恵みや魅力を4元素（水・土・空気・火）に例えて紹介し、多様な環境やアイヌ文化を感じることができる旅先として認知度を向上し、訪日客の増加へつなげる。
		北海道放送株式会社	
東北	02	青森県黒石市	歴史ある黒石温泉郷の街並み、津軽塗・こけしの伝統工芸品、ヴィーガン料理など、伝統と新しさの魅力を津軽三味線の音色と共に紹介し、認知度向上と訪日客の増加へ繋げる。
		青森朝日放送株式会社	
	03	宮城県本吉郡南三陸町	南三陸町の地域資源を活かし、自然や郷土文化、特産品等の「体験学習」の魅力を紹介し、研修修学旅行をはじめとしたインバウンド誘致を図る。
		株式会社テレモアドットコム	
	04	秋田県	山や自然と共生する「マタギ」の歴史や文化を通じ、秋田県の自然の豊かさを紹介し、秋田県北地域における体験型観光への誘客拡大を図る。
		株式会社秋田放送	
05	山形県山形市	「Snow Monster」として知られる蔵王の樹氷になぞらえ、山形市のアクティビティや食文化の魅力を様々な「モンスター」としてストーリー仕立てで紹介し、海外からの誘客につなげる。	
	山形放送株式会社		
06	一般財団法人会津若松観光ビューロー (福島県)	「サムライ」と「スノーリゾート」を切り口として自然と歴史・文化が調和する会津若松市の冬季の魅力を紹介し、訪日客の増加へつなげる。	
	株式会社テレビユー福島		
関東	07	栃木県	大改修を終えた世界遺産「日光東照宮」の歴史的、文化的な価値や伝統工芸品の技術体験について、ストーリー性のある映像で紹介し、訪日客の増加へつなげる。
		株式会社とちぎテレビサービス	
08	一般社団法人笛吹市観光物産連盟 (山梨県)	萬籟北斎が描いた富士山とその街並みの現在をテーマに、四季折々の風景、歴史体験や特産品などを紹介し、訪日客の増加及び製品の販路・輸出の拡大を図る。	
	株式会社日本ネットワークサービス		
信越	09	新潟県村上市	1000年以上続く鮭と村上市の歴史や独自の食文化を中心に、鮭とともに歩んできた街並みの魅力を紹介し、海外からの誘客を図る。
		株式会社NST 新潟総合テレビ	
	10	長野県下高井郡野沢温泉村	グリーンシーズンのアクティビティなどの体験型観光や食・文化など、冬期以外の野沢温泉の魅力を紹介することで、年間を通じた更なるインバウンドの増加につなげる。
株式会社Goolight			
11	一般社団法人 HAKUBA VALLEY TOURISM (長野県)	歴史・文化、食、夏のアクティビティといった、スキー以外の白馬の魅力をおオーストラリア人アーティストが演奏を交えて紹介し、夏期の来日客のリピー率向上につなげる。	
	信越放送株式会社		

ブロック	No.	上段：情報発信主体名 下段：映像制作者名	企画概要
北陸	12	石川県輪島市	輪島の伝統文化「御陣乗太鼓」の歴史、神秘性、独自性・希少性をダイナミックな太鼓の演奏とともに紹介し、異文化体験を重視する外国人の誘客につなげる。
		北陸放送株式会社	
東海	13	一般社団法人郡上市観光連盟（岐阜県）	オーストラリア出身の芸人による郡上市での旅体験として、スノーアクティビティや歴史的な町並み・文化を四季の風景を交えて紹介し、来日客の増加につなげる。
		東海テレビ放送株式会社	
	14	有松絞商工協同組合（愛知県）	「工芸×町並み×まつり」という多面的な魅力をテーマに、日本遺産である有松の伝統工芸「有松絞り」の体験模様や風情ある町並みの魅力を紹介し、インバウンドの増加につなげる。
		株式会社CBCテレビ	
近畿	15	兵庫県丹波篠山市	伝統的な城下町や四季折々の田園風景、古民家宿泊や陶芸など「日本の原風景の体験」を紹介することで、知的好奇心に訴求し、海外からの観光誘客につなげる。
		株式会社毎日放送	
中国	16	広島県廿日市市	世界遺産「厳島神社」を擁する宮島に加え、廿日市市の特産品である牡蠣やわさびなどの食文化の魅力を歴史や文化とともに紹介し、廿日市市全域のインバウンド増加につなげる。
		株式会社テレビ新広島	
四国	17	愛媛県今治市	瀬戸内しまなみ海道のサイクリングコースとともに、郷土料理、歴史・文化など様々な体験の魅力を紹介し、海外からの誘客訴求、滞在時間の長期化・再訪意欲の促進につなげる。
		株式会社テレビ愛媛	
	18	愛媛県大洲市	大洲の風土、文化、自然、大洲城での宿泊など五感で得る楽しみを歴史的観点も交えて紹介し、アドベンチャートラベルの要素を求める海外からの旅行者層への訴求・誘客を図る。
		南海放送株式会社	
九州	19	福岡県	八女市が誇る玉露「八女茶」と伝統工芸品にまつわる歴史や風景を中心に、茶道や古民家宿泊などの体験も交えて紹介し、筑後地域への海外からの誘客につなげる。
		RKB 毎日放送株式会社	
	20	一般社団法人雲仙観光局（長崎県）	平成新山、普賢岳をはじめとする雲仙市の火山由来の観光資源の魅力をオーストラリア人親子による体験を通じて紹介し、海外からのアドベンチャートラベルの増加につなげる。
		株式会社長崎国際テレビ	
21	一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏（大分県）、大分県	神代・古代から現代までの国東半島及び宇佐地域の自然・文化や世界農業遺産を巡るアドベンチャートラベルの魅力を紹介し、来日客の増加につなげる。	
	大分朝日放送株式会社		
22		一般社団法人高千穂町観光協会（宮崎県）	神社・雲海・神楽と自然の造形美を軸に、高千穂の神秘的な情景を映像美と自然音を活かして表現し、心身の安らぎを求める外国人旅行者の誘客につなげる。
		株式会社テレビ宮崎	

ブロック	No	上段：情報発信主体名 下段：映像制作者名	企画概要
九州	23	一般社団法人日南市観光協会（宮崎県）	「タイムトリップ」をテーマに、日南・鉄肥の城下町や鉄肥杉の歴史と自然などスローライフな日南市の魅力を紹介し、訪日客の増加及び工芸品の販路拡大につなげる。
		株式会社トレードメディアジャパン	
沖縄	24	沖縄県	琉球王国時代に育まれた琉球料理を継承しつつ現代風アレンジした「琉球ガストロノミー」の魅力を、歴史・文化や沖縄の風景と共に紹介し、来日客の増加につなげる。
		琉球放送株式会社	
	25	沖縄県島尻郡座間味村	座間味の海、山、花、空などの美しさを神秘性と色彩で表現し、自然文化や食文化などを体験するアドベンチャー旅行として紹介し、来日客の観光消費額拡大につなげる。
		琉球朝日放送株式会社	

<p>本件が該当する目標</p>		 	
------------------	---	--	---

記者発表票 (記者発表・資料配布)			
発表年月日	2024年 1月 11日	担当地方機関	丹波篠山市
電話番号・内線	079-552-0275 内線 342	担当課	創造都市課
広報担当者 (発表者)	一般社団法人丹波篠山キャピタル 谷川 智穂	事務担当者	一般社団法人丹波篠山キャピタル 瀬戸 大喜
同時発表先	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 ()		
件名	篠山イノベーターズスクール2024年度募集について		

起業・継業のためのローカルビジネススクール

篠山イノベーターズスクール

プログラムがリニューアルします！

—事業のフェーズ・目的に合わせた4つのコースを設置—

2024年度生30名の募集を開始します！5月より開講。

2024年1月22日にプログラム情報を公開・2月1日申込み開始

一般社団法人 丹波篠山キャピタル（丹波篠山市、代表理事：中塚 雅也（神戸大学大学院農学研究科教授））は、2024年2月1日（木）より、篠山イノベーターズスクールの受講生の募集を開始いたします。

本年度から新たに、事業のフェーズや目的によって4つのコースを設置します。コースごとに、仲間と一緒にノウハウを学び、ビジネスモデルの構築や実践に取り組みます。これまで神戸大学と市が連携してきたことを生かし皆さんのチャレンジを応援。すでに地域で活躍されている実践者による講義や丹波篠山でのネットワーク構築と内容充実。またコーディネーターが受講生に伴走し、地域とのマッチングを含め、最後までお手伝いします。ぜひ、皆さんも一緒にスクールで学んでみませんか。



【URL】 <https://school.tscapital.jp/>



※2024年度プログラム公開は2024年1月22日です。

《本件のポイント》

- ・【内容】ローカルでしごとをつくる「篠山イノベーターズスクール」開講（期間：2024年5月 - 翌年3月）
- ・【内容】プログラムをリニューアル（目的や事業フェーズに合わせた4つのコースを新たに設置）※従来

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般社団法人 丹波篠山キャピタル/篠山イノベーターズスクール事務局 担当：谷川、林
TEL/FAX：079-506-6628（携帯：090-5017-3927（谷川）） MAIL：info@tscapital.jp

の、事業分野別（加工業、宿泊業など）のプロジェクト型実践講座（CBL）を「コース」に改編

- ・【内容】丹波篠山市での起業、継業、事業創造をしたい人 30 名を募集
 - ・【内容】2024 年度生申込受付スケジュール：
 - ① 1 次エントリー（2/1～2/29）
 - ・受講者確定通知 3/8, 受講料振込期限 3/22
 - ② 2 次エントリー（3/1～3/29）
 - ・受講者確定通知 4/10, 受講料振込期限 4/26
- ※定員に達し次第、エントリーは締め切ります。
- ※ 1 次エントリーで定員に達した場合は、2 次エントリーは行いません。
- ・【実績】2016 年より 7 年間（～9 期）で、卒業生 239 名、56 名が起業・継業、26 名が事業拡大

■2024 年度のカリキュラム

期間は 2024 年 5 月から 2025 年 3 月までの約 1 年間。座学・実学を含めて総合的に学び、起業・継業・事業創出を目指します。プログラムは、①同じ志を持った仲間とノウハウを深める 4 つの「コース」、②講義でセオリーを学ぶ「セミナー」、③ネットワークで離陸する「起業・継業サポート」の 3 本立てで構成。1 つの「コース」に所属しながら、「セミナー」「起業・継業サポート」を受けながら、ビジネスプランを具体化していき、ビジネスプランの構築や事業実施を目指します。

以下、タイトルのみ記載（詳細はシラバスをご覧ください）。

●選べる 4 つのコース（1 コース選択）

- ・起業エントリーコース（週末・平日夜）
- ・起業アドバンスコース（週末・平日夜）
- ・コミュニティビジネスコース（平日昼メイン）
- ・ローカルデザインコース（平日夜・週末/オンラインメイン）

●起業・継業サポート（希望制）

- ・セミナー講師陣による少人数ワークまたは個別相談
- ・丹波篠山ツアー
- ・交流会
- ・コーディネーターへの個別相談
- ・丹波篠山市地域おこし協力隊への推薦*

*募集のある年のみ・修了生対象 他

●セミナー（コースごとに必修を指定）

- ※必修以外の講座も選択可能
- ・農村ビジネス基礎（オムニバス）
- ・食と農の流通とマーケティング
- ・農村イノベーション
- ・アントレプレナーシップ基礎（2024 年度新講座）
- ・ビジネスモデルデザイン

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般社団法人 丹波篠山キャピタル/篠山イノベーターズスクール事務局 担当：谷川、林
TEL/FAX：079-506-6628（携帯：090-5017-3927（谷川）） MAIL：info@tscapital.jp

■募集要項

選考	書類と受講生の多様性に基づき選考いたします。
受講資格	特になし（丹波篠山市をはじめとする農村地域での起業・継業を検討している方）
開講場所	メイン教室：神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ 〒669-2212 兵庫県丹波篠山市大沢 165-3（JR 篠山口駅舎内）※現地実習等、現地に赴く講座もあります
受講期間	2024年5月～2025年3月
定員	32名
提供科目	4コース（→1コース選択）、セミナー5科目（→コースごとに必修を設定、最大5科目選択可能）、起業・継業サポート（→自由選択）
修了要件	各コース必修セミナー / ビジネスプラン・計画書の提出（各コースで求めるもの） ※6コマセミナーは4コマ以上、4コマセミナーは3コマ以上の受講が必須
費用	受講料 88,000円（税込） *教材費やフィールドワーク等のための交通費等が別途かかる場合があります。 *大学生（10代・20代に限る）については、学費助成制度もございます。詳細はお問い合わせください。
主催	主催：丹波篠山市 企画協力：神戸大学地域連携推進本部 運営：一般社団法人 丹波篠山キャピタル 後援：西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 兵庫支社

■説明会

募集期間中にプログラムの説明会を実施いたします。プログラムの詳細や、説明会終了後の個別相談も受け付けておりますので、お気軽にご参加ください。なお、説明会の受付開始は、2024年1月22日です。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般社団法人 丹波篠山キャピタル/篠山イノベーターズスクール事務局 担当：谷川、林
TEL/FAX：079-506-6628（携帯：090-5017-3927（谷川）） MAIL：info@tscapital.jp

日時	場所
2月3日(土) 15:30~16:00	対面/農村イノベーションラボ ※1 ※地域しごとサポートセンター丹波セミナー(14:00~15:30)の後実施のため30分間。
2月11日(日) 14:00~15:00	対面/農村イノベーションラボ ※1
2月14日(水) 19:00~20:00	オンライン/Zoom ※2
2月25日(日) 14:00~15:00	対面/農村イノベーションラボ ※1
3月2日(土) 14:00~15:00	オンライン/Zoom ※2
3月9日(土) 14:00~15:00	対面/農村イノベーションラボ ※1
3月13日(水) 19:00~20:00	オンライン/Zoom ※2
3月20日(水・祝) 14:00~15:00	対面/農村イノベーションラボ ※1

※1 〒669-2212 兵庫県丹波篠山市大沢 165-3 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ (JR 篠山口駅直結)

※2 オンライン説明会 (Zoom) の URL は申込者宛にメールで通知します

■篠山イノベーターズスクールについて

丹波篠山市と神戸大学の地域連携事業の一環として開講された、全国でも先駆的な農村での起業・継業(事業継承・第二創業)に特化したローカルビジネススクール。「丹波篠山で、新しい仕事をつくりたい」という受講生が1年間のプログラムを通して学び、起業・継業の準備をします。プログラムの特徴として、実学と座学の両輪で総合的に学ぶプログラムと、様々な専門家による相談や、資金調達、居住など物件情報とのマッチング等の伴奏支援、また募集のある年については、地域おこし協力隊への推薦も行い、丹波篠山地域での仕事づくりを推進しています。

■丹波篠山キャピタルについて

2022年1月に設立された丹波篠山市の人材育成に特化して地域の活性化を目指す中間支援組織。2016年に設立した一般社団法人 EKILAB.を前身とし、篠山イノベーターズスクールの運営や、丹波篠山市地域おこし協力隊コーディネーター等を行う人材支援事業、新しい関係づくりの制度開発や人材の紹介・マッチング等を行う人材管理事業、地域調査・コンサルティング、研究ネットワーク構築を行う知識管理事業を行っています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般社団法人 丹波篠山キャピタル/篠山イノベーターズスクール事務局 担当: 谷川、林
TEL/FAX: 079-506-6628 (携帯: 090-5017-3927 (谷川)) MAIL: info@tscapital.jp

■お問い合わせ先

名称：一般社団法人丹波篠山キャピタル/篠山イノベーターズスクール事務局（担当：谷川、林）

住所：〒669-2212 兵庫県丹波篠山市大沢 165-3 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ

TEL/FAX：079-506-6628（携帯：090-5017-3927（谷川））MAIL：info@tscapital.jp

<報道関係の方からのお問い合わせ先>





一般社団法人 丹波篠山キャピタル/篠山イノベーターズスクール事務局 担当：谷川、林
TEL/FAX：079-506-6628（携帯：090-5017-3927（谷川）） MAIL：info@tscapital.jp

篠山イノベーターズスクール2024年度 コース別内容（一部抜粋）

2024/1/9
篠山イノベーターズスクール
(運営：一般社団法人丹波篠山キャピタル)

コース名	起業エントリー	起業アドバンスト	コミュニティビジネス	ローカルデザイン
HP用 概要 (200字程度)	自身のプランを実現するために、地域(コミュニティ)でのビジネスを学びながら、アイデア整理およびビジネスモデルの構築を行います。丹波篠山で何かをやってみたいが、もう少しアイデアを具体化したいというかたや、アイデアはあるが、ビジネス化の方法を基礎から取り組みたいかたに向けたコースです。丹波篠山の地域課題や地域資源に触れ、ビジネスへの接続も考えてみま	すでにビジネスモデルや事業内容がある程度決まっているかたや、事業開始までの期間が1年以内のかたに向けたコースです。地域(コミュニティ)でのビジネスや丹波篠山の地域課題や地域資源に触れ、ビジネスへの接続も考えてみます。初めて起業をするかたも、第二創業を目指すかたも対象にしています。丹波篠山のネットワークをつくりながら、事業化・実践を進めてみま	「地域活性化に興味がある」「これまでの経験を活かしてビジネスで地域おこしをしていきたい」というかたに向けたコースです。コミュニティビジネスとは、地域が抱えるニーズや課題を、地域資源を活かしながら「ビジネス」によって解決しようとする事業のこと。地域課題や資源に触れ、あなたの強みを分析し、地域との関係構築を図りながら、コミュニティビジネスの起業を、仲間と一緒に目指しませんか。主に、平日昼に開催します(一部週末開催あり)。	丹波篠山にこれから関わりたい人や、移住を考えているかたを対象に、地域への関わりやネットワークづくりを行いながら、将来の仕事や生活を考えていくコースです。そもそも丹波篠山での仕事は、雇用、起業、事業継承など…様々なかたがあります。多様な仕事・活動に触れながら、将来のライフスタイルをイメージし、自身の仕事について考えてみませんが、主にオンラインで受講可能なコースです(年間2回は対面あり)。
対象者	・これから起業準備を始めるかた ・これからアイデア・ビジネスモデルの整理を始めるかた ・起業まで時間のあるかた(1年以上)	・アイデア・ビジネスモデルの整理はある程度できており、創業計画作成に着手したいかた ・起業済みで、これから第二創業を考えているかた ・起業までの期間が短いかた(1年以内) ・篠山イノベーターズスクール卒業生(協力隊OBOGの再受講も可)	・市内在住者で 一地域課題の現場を持っているかた 一地域資源の活用を考えているかた 一これまでの地域活動の事業化を検討しているかた ※市外の方で、これまでの経験を活かして地域と関わって起業したい方も受講いただけます。	・丹波篠山へ移住を検討しているかた ・移住は考えていないが、丹波篠山での新たな活動を考えているかた ・丹波篠山出身で、市外(遠方)に在住のかた ・農村地域でのローカルキャリアのイメージを具体化したいかた
ゴール	・ビジネスモデルキャンパスの完成 ・ビジネスプラン発表(修了式時) ・創業計画書に準じた事業計画を練り始めている(個々の進捗による)	・創業計画書の作成 ・事業計画を発表する(修了式時) ・MVP(実用最小限の製品、サービス)	・丹波篠山の地域課題や地域資源に触れ、自分ごとのように考える ・ビジネスモデルキャンパスの完成 ・ビジネスプラン発表(修了式時) ・創業計画書に準じた事業計画を練り始めている(個々の進捗による)	・自身のライフスタイルをイメージしながら、自身のローカルキャリア(仕事)を具体化する ・ローカルキャリアプランを発表する(修了式時)
起業ビジネスのイメージ (いずれかにあてはまるもの)	規模: ・スモールビジネス、自分のスキルを活かした起業・副業 ・家族経営、個人事業 商圏: ・主な商圏を市外に想定したビジネス 分野: ・飲食・観光・宿泊:地域資源を活用した事業など ・農業:特産品生産や販売促進・新たな特産品開発など ・地域ブランドを活かしたビジネス	規模: ・スモールビジネス、自分のスキルを活かした起業・副業 ・家族経営、個人事業 ・年商1500万以上や雇用を想定したビジネス ・一会社の設立または、新規事業の創出 商圏: ・特に制限なし 分野: ・特に制限なし	規模: ・特に制限なし 商圏: ・主な商圏を市内に想定したビジネス 分野: ・まちづくり:自治会等と連携した活動・祭りなど ・環境保全:農地保全・山林保全・環境美化など ・福祉:子育て支援・高齢者支援・障害者支援など ・教育:学びの場づくり ・地域資源活用:空き家や空き施設の活用・耕作放棄地活用など	起業エントリーやコミュニティビジネスが対象としているようなビジネス
定員	8名	8名	8名	8名
(開催分類)	週末・平日夜	週末・平日夜	平日昼メイン (開講式、中間発表会、修了式、一部セミナーは週末開催)	平日夜・週末/オンラインメイン(5/11,9/28,29は対面)
ポイント	・これから丹波篠山での起業準備を始めるかたにおすすめ	・アイデア・ビジネスモデルの整理はある程度できており、丹波篠山での事業の新たな創業計画作成に着手したいかたにおすすめ(第二創業も歓迎)	・週末に事業などで来校できないかたにもおすすめ ・やむを得ない事情により、週末にセミナーを受講できない場合は、平日開催の別セミナー受講により、修了要件を満たすことができる場合があります(要相談・コミュニティデザインのみ)。	・遠方に在住のかたで、頻繁な対面参加が困難なかたにおすすめ ・基本オンラインで参加可能。ただし、5/11(開講式・コース2コマ実施)、9/28,29は丹波篠山での対面参加が必要。
必修セミナー	農村ビジネス基礎 農村イノベーション 食と農の流通とマーケティング ビジネスモデルデザイン	農村ビジネス基礎 農村イノベーション 食と農の流通とマーケティング アントレプレナーシップ基礎	農村ビジネス基礎 農村イノベーション ビジネスモデルデザイン	農村ビジネス基礎 農村イノベーション 食と農の流通とマーケティング
起業・継業サポート	希望制 ※ただし、セミナー講師陣による少人数ワークまたは個別相談は、原則、同講師のセミナーを受講をお願いします。			

※セミナーは、必修セミナーに記載講座以外も、希望により受講が可能です。

本件が該当する目標		
		

記者発表票 (記者発表・資料配布)			
発表年月日	令和6年1月11日		丹波篠山市
電話番号・内線	079-552-1114 内線441	担当課	農都政策課
広報担当者(発表者)	農都政策課 課長 竹見 政徳	事務担当者	農都創造政策官 森本 秀樹 農業係長 青野 大地
同時発表先	無 ・ 有 ()		
件名	丹波篠山の黒大豆の歴史を詳細に著した本「日本農業遺産になった丹波篠山の黒大豆」が出版されました。		

「日本農業遺産になった丹波篠山の黒大豆」が金木犀（きんもくせい）舎から発刊されました。

著者は、島原作夫氏で、丹波篠山市農業遺産推進協議会アドバイザーとして丹波黒大豆の日本農業遺産認定申請でご助言をいただきました。

この本は、丹波篠山市原産の丹波黒大豆を歴史資料から詳しく著されたもので、丹波篠山の黒大豆が文献に登場する江戸時代から日本農業遺産に認定されるまでの歩みを詳細に紹介されています。

特に藩政時代の犠牲田（ぎせいでん）やそこから生まれた堀作（ほりづくり）、高畝栽培（たかうねさいばい）などのほか、波部本次郎による選抜育種（せんぱついくしゅ）、さらには昭和20年代後半には栽培面積が10haへと減少した中で、現在では550ha（子実）を超える全国一の産地としてブランドを築いた足跡をたどる本となっています。

なお、本は金木犀（きんもくせい）舎、アマゾン等で購入が可能となっています。

- 1 発刊名：「日本農業遺産になった丹波篠山の黒大豆」
- 2 出版社：金木犀（きんもくせい）舎
- 3 定 価：1,980円（本体価格1,800円＋税） 四六判・並製・188ページ
- 4 発売日：2023年12月13日発売
- 5 著 者：島原 作夫（しまはら・さくお）
1949年兵庫県姫路市生まれ。兵庫県の農政部門に勤務。
退職後、特産物の歴史研究。
丹波篠山市農業遺産推進協議会アドバイザー
著書 — 『丹波黒大豆の300年』（2015）
『消えゆく淡路島のナルトミカン』（金木犀舎、2020）

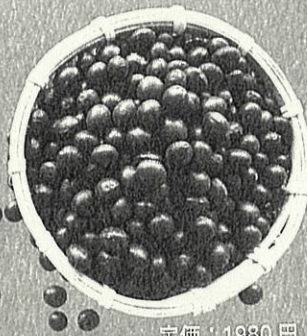
日本農業遺産になった
丹波篠山の黒大豆

島原作夫

SAKUO
SHIMAHARA

黒豆の王様

粒が大きく、甘味が強い
皮切れせず、やわらかく煮える



金木屋舎

定価：1980円（税込）

「丹波篠山の黒大豆」の魅力をひもとく



9784909095480

ISBN978-4-909095-48-0
C0061 ¥1800E



1920061018006

定価：本体 1800円 + 税

- はじめに 丹波篠山の黒大豆への扉
- 第一章 日本の大豆と丹波篠山の黒大豆の今
- 第二章 日本一の黒大豆産地の歩み
- 第三章 黒大豆の献上の社会的背景
- 第四章 産地の文化
- 第五章 歴史はそう教えている
- おわりに 丹波篠山の黒大豆の明日に向けて

2024.01.11

島原先生への事前質問内容

本日の記者発表に出席されませんのであらかじめ質問票にご記入いただきました。

記者の皆様取材の参考になればありがたく思います。

農都創造政策官 森本

1 2015年(H27)に「丹波黒大豆の300年」を自費出版されていますが、なぜ丹波の黒豆について書こうと思われたのですか？

丹波黒大豆について書かれた本がありませんし、「なぜ丹波の黒豆は有名なのか」とう素朴な疑問がきっかけで書きました。

2 その時の反響はいかがでしたか？

「このような本を待ち望んでいた」、「よく調べておられる」と言われました。丹波新聞に出版の記事が載ったこともあり、すぐに100部に完売しました。

3 今回、新たに「日本農業遺産になった丹波篠山の黒大豆」を発刊されましたが、なぜ、この本を書かれたのですか？

令和3年(2021)2月に「丹波篠山の黒大豆栽培」が日本農業遺産に認定されました。この申請書作成に当たって、私自身、アドバイザーを務めました。そんなご縁があって、黒大豆を受け継いでこられた先人たちの労に報いるとともに、これからのためにも彼らが歩んだ足跡を、記録として残しておこうと思った次第です。このことが本書を書く最大のきっかけとなりました。

また、前回、出版の本には、献上や昭和後期以降の急増、全国ブランド化の背景の記述が十分でなく、食文化など篠山の文化の記述がありませんでした。

そこで、いつの時代も高く評価されてきた黒豆の王様・丹波篠山の黒大豆の魅力を歴史と文化から描こうと思いました。言い換えれば、丹波篠山の黒大豆の全体像を歴史と文化から描こうと思いました。

少し詳しく述べると、

丹波篠山の黒大豆が全国的に知れ渡ったのは昭和五〇年代以降、ほんの四〇年あまり前のことです。それまでは、地域の特産物に過ぎなかったのです。

なぜ丹波篠山の黒大豆は昭和後期から飛躍的に発展したのか。

なぜ武士の時代から黒大豆は作り続けられているのか。

なぜ黒大豆は地域の文化を育んできたのか。

そんな疑問に答えるべく、この本を書きました。

4 この本を執筆される中で、特にご苦労されたことは何でしたか？

江戸時代から昭和中期までの文献資料が少ないことです。

そのため、町村史や郡史、県史、農業試験場成績書、料理書、新聞、雑誌などの検索から始めました。それら資料の中から、関連する記述を探し出しました。それから、社会的背景や考え方を調べたり、郷土史を研究する人に問い合わせ、いろいろ聞いたり、古文書を探したり、日本近世史を読んだりしました。

5 この本の中で、特に読者に呼びかけたいことは何ですか？

一つ目は、丹波篠山の「美味しい食べ物や長い歴史と文化、美しい景色、いろんな生きものたち」を、これからもみんなで守っていくこと

二つ目は、過疎化や高齢化などの問題に悩む日本の農業にあって、中山間地域の丹波篠山の黒大豆産地が伝統的な小規模家族農業を維持しながら発展する意義は大きいこと

三つ目は、丹波篠山の黒大豆栽培の長い歴史をたどってみると、困難に直面するたびに、技術がこれを切り拓いてきたこと

四つ目は、特産物・丹波黒大豆には地域を活性化させる力を持っていること

五つ目は、丹波篠山における黒大豆の発展の歴史は多くのことを教えていること

「農業技術の開発なしに、展望は開けない」、「ブランドは長く生き続ける」など

6 前の本と大きく違った点がありますか？

3 参照

2015年刊の『丹波黒大豆の300年』を全面的に改訂し、新資料や新たな記述を追加し、全訂版として『日本農業遺産になった丹波篠山の黒大豆』を出版

7 この本の執筆にどれくらいの時間を費やされましたか？（何年）

この本を書こうと思ったのは、遺産に認定された令和3年2月ですので、2年半かかりました。豆類時報（日本豆類協会発行）に発表した小文が土台となっています。

8 初回の本の部数と今回の本の出版部数は？

初回の本の部数 100 部、今回の本の出版部数 300 部

9 丹波篠山の黒大豆についてどのように思われますか？（産地へのエール）

生産面

篠山の農家のすばらしさは、技術力の高さです。どこの直売所をのぞいても、葉を取り除き2粒莢が鈴なりについた技付きの黒枝豆が並んでいる。個々の農家が確かな技術を持っている証拠です。

高級な豆づくりが丹波篠山の特徴である以上、手間隙かけて栽培する伝統的な小規模家族農業は生命線です。

そのためにも、担い手不足を緩和する効果のある農作業受託方式や大規模農家と小規模な農家の連携などを推進し、生産力を維持していくことを願っています。

販売面

丹波黒大豆の市場は飽和期にあり、その新たな需要創出を現実のものとする方策が求められています。例えば「黒大豆とお菓子と歴史的景観のまち」として持続可能な発展を遂げていくことを期待しています。

10 今後も丹波黒大豆の研究を続けられますか？

市史編さん事業で、和田村石田家文書やあ青山家文書、楽翁文書の整理・解読が進んでいます。それに伴い、さらに江戸時代の黒大豆の生産・流通の実態がわかってくるのでは、ないかと期待しています。

それらを活用して黒大豆の研究を継続していくことにしています。

問い合わせ先（著者）：島原 作夫（しまはら・さくお）

〒 671-1134 姫路市大津区真砂町 100-2 tel 079 (237) 5443

日本農業遺産認定

丹波篠山の黒大豆栽培・300年の歴史

丹波篠山の黒大豆

自然と調和し、

手間ひまかけて、

工夫と想いでつくられた黒大豆。

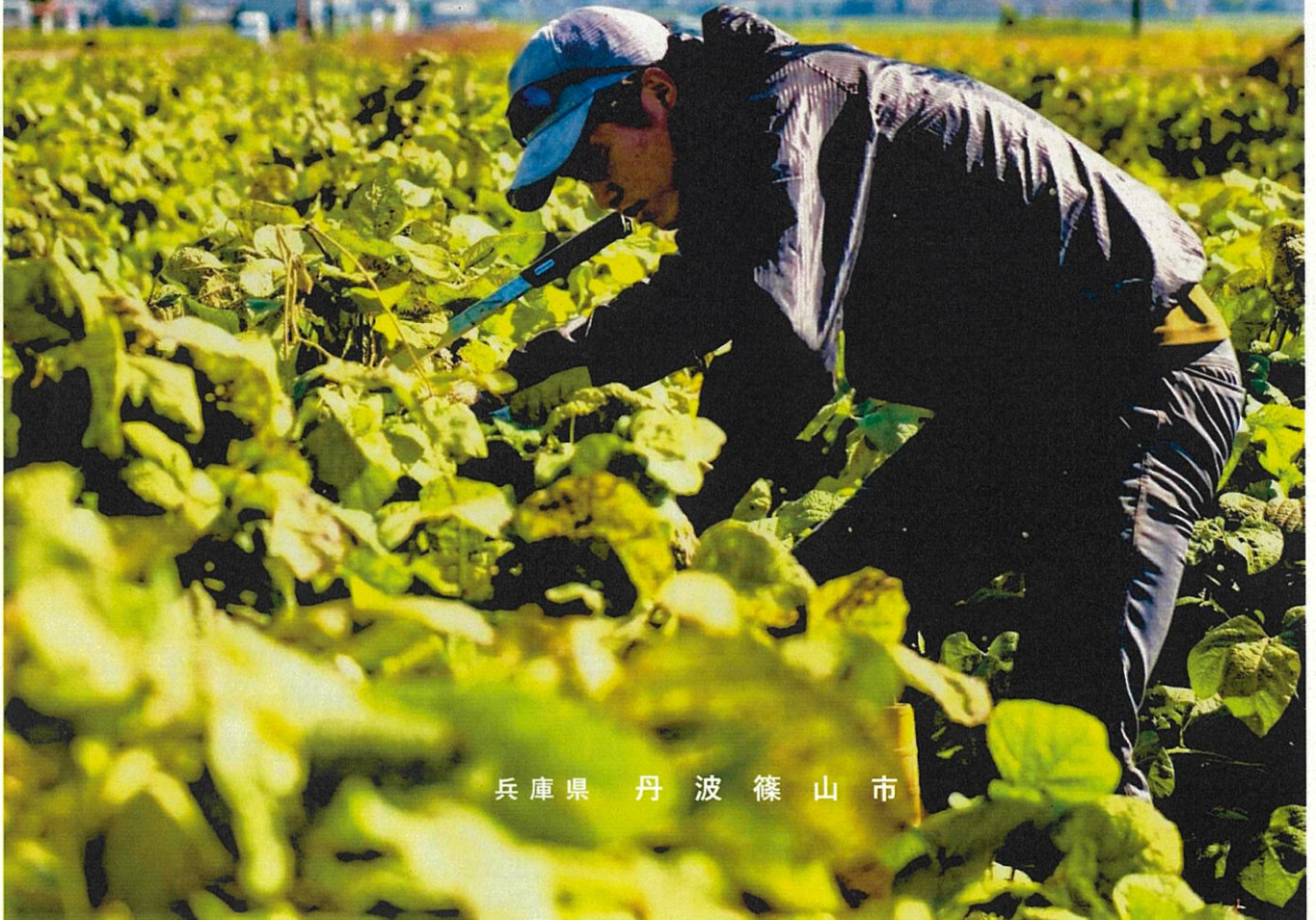
今ではみんなの自慢です。




さて、丹波篠山の黒大豆栽培は

いつどのようにはじまったのでしょうか。

黒人豆の深い物語をご紹介します。

兵庫県 丹波篠山市



<p>本件が該当する目標</p>	  
------------------	---

記者発表票 (記者発表) 資料配布)			
発表年月日	令和6年1月11日	担当地方機関	丹波篠山市
電話番号・内線	079-552-3600 内線	担当課	田園交響ホール
広報担当者(発表者)	田園交響ホール 酒井直隆	事務担当者	田園交響ホール 小山達朗 波多野敬介
同時発表先	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 ()		
件名	丹波篠山市民ミュージカル 第11弾「ノートル=ダム・ド・パリ」稽古一般見学		

第11弾となる標記事業は、令和6年2月11日・12日公演に向けて、現在、週3日の猛稽古に入っています。今回は、小学1年生から70歳代までの幅広い世代の出演者71名と演出家、脚本家や舞台製作関係スタッフが心を一つに取り組んでいます。

いよいよ、公演まで残り1か月ほどとなり、場面を一つ一つ確認しながら稽古も進んでおり、セリフの言い回し、動きに加え、歌に踊りに限られた時間の中で稽古が続いています。

本公演をより楽しんでもらうために、また、丹波篠山市民ミュージカルに関心を持っておられる市民の方に、公演直前の稽古を見学してもらえるように、一般見学可能日を設定します。

※別紙参照

丹波篠山市民ミュージカル 「ノートル＝ダム・ド・パリ」 稽古一般見学可能日

令和6年1月6日現在

月日	練習時間	場 所
1月17日(水)	18:30～21:30	田園交響ホール
1月24日(水)	18:30～21:30	田園交響ホール
1月27日(土)	10:00～17:00	田園交響ホール
1月28日(日)	10:00～17:00	田園交響ホール

※都合により、日時の変更がある場合や稽古内容により見学をお断りする場合があります。

【見学ご希望の方へ】

- ・見学希望の方は、事前に田園交響ホール(Tel.552-3600)までご連絡をお願いします。※予定が変更になる場合もあります。
- ・上表時時間内であれば、ご自由にご入場、ご退場は自由です。
- ・ご見学の際には、入り口に置いている見学受付簿にお名前等をご記入ください。

丹波篠山市民ミュージカル「ノートル=ダム・ド・パリ」稽古一般見学実施要領

田園交響ホール

令和6年1月6日

1. 趣旨

丹波篠山市民ミュージカルの稽古を一般の方に見学してもらうことにより、丹波篠山市の市民協働参画の特徴的な取り組みの一つである丹波篠山市民ミュージカルの魅力を広く知っていただき、さらには、次回作以降に出演者、スタッフとしての参画につなげていくことを目的とする。

2. 見学可能日

月日	稽古時間	場 所
1月17日(水)	18:30~21:30	田園交響ホール
1月24日(水)	18:30~21:30	田園交響ホール
1月27日(土)	10:00~17:00	田園交響ホール
1月28日(日)	10:00~17:00	田園交響ホール

3. 注意事項

(ア) 練習日時に変更等がある場合に備えて、見学希望者は、田園交響ホールまで見学希望の事前連絡が必要。

田園交響ホール35周年記念事業

丹波篠山市民ミュージカル 第11弾

ノートル=ダム=ド=パリ

~ 愛と宿命の物語 ~

原作:ヴィクトル・ユゴー



キャラクターデザイン:境谷 純

Performance
4回公演
全席自由

2024年2月11日[日]・12日[月・祝]
《昼の部》12:00~(開場11:30) / 《夕方の部》16:00~(開場15:30)
一般 1,500円 / 高校生以下 1,000円 (当日 各500円アップ)

※3歳以上はチケットが必要です ※3歳未満でも座席が必要な場合はチケットが必要となります

演出:松本 昇三 脚本:勇来 佳加

振付:kayeon (はやみ甲ダンスカンパニー) 振付助手:清水 絵梨 作曲:河野 良 歌唱指導:ありす 未来・西田 夫佐

舞台美術:野崎 みどり 大道具:皿谷 公男 衣装制作:市民ボランティアの方々

舞台・照明・音響:田園交響ホール ステージオペレータークラブ

丹波篠山市立
田園交響ホール

TEL 079-552-3600

〒669-2332 兵庫県丹波篠山市北新町4-1
ホームページ | 交響ホール | 検索

主催 | 丹波篠山市民ミュージカル実行委員会・丹波篠山市・丹波篠山市教育委員会

制作 | 丹波篠山市立 田園交響ホール

丹波篠山市内 (079)
田園交響ホール 552-3600
小山書店 552-0019
木下楽器 552-0321
森本書房 552-0125
丹波篠山市民センター 554-2188

NPO法人いぬいふくし村 554-3340
ふくすみストア 557-0053
TSUTAYA 篠山店 590-2451
黒豆の館 590-8077
こんだ薬師温泉めぐりの郷 590-3377

丹波市内 (0795)
春日文化ホール 74-1050
かいばら観光案内所 73-0303
丹波の森公園 72-2127
三田市内 (079)
阪急オアシスえるむプラザ 565-1148

加古郡播磨町 (078)
フォルグローレ村 944-1754

ローソンチケット Web
https://l-tike.com (Lコード: 54129)
(一般発売初日のみ 10:00 ~ 予約可)

いちず あい こうさく あり
一途な愛と交錯する哀

ふか こころ きざ
深く心に刻まれる、哀しくも美しい「宿命」の物語

丹波篠山市民ミュージカル(略して「ささミュー」)は、2001年の始動以来、ほぼ隔年で上演してきました。そして今回は、初めてのハッピーエンドで終わらないストーリーですが、見終わった後、深い感動で、大人だけでなく子どもたちにもきっと深く心に刻まれる作品となることでしょう。

11回目となる「ささミュー」。新たな挑戦をぜひご覧ください!!

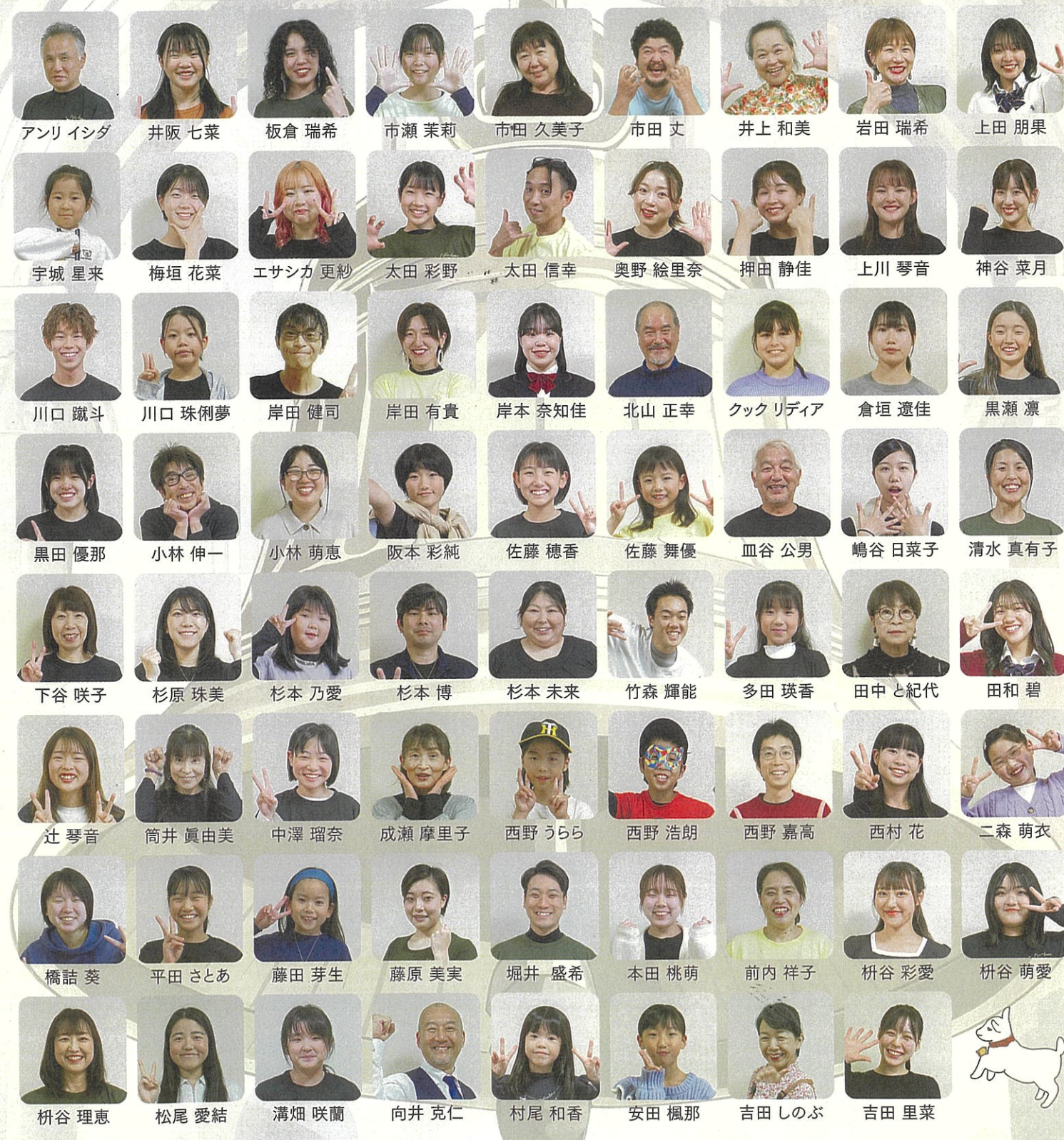
【あらすじ】




舞台は15世紀のパリ。弾圧と排除が激しい荒んだ時代。ノートル=ダム寺院での物語。

大聖堂前に捨てられ、副司教クロードによって育てられた鐘つき男のカジモド。大聖堂の塔に閉じ込められ外の世界と隔離されていたが、ある日、美しい流浪の踊り子エスメラルダに出会い魅せられる。しかし思いは報われず、孤独に苦しむ中、彼の一途な愛はエスメラルダを残酷な運命へと導き、また彼女の魅力に取りつかれた様々な登場人物たちも翻弄されていく。

人間に内在する強さと弱さ、破滅と救済、情念と理性の葛藤が渦巻き、大聖堂の鐘の音とともに、壮大なドラマが展開される。

出演者71名全員が、全身全霊で演じるステージ。ぜひ劇場でお楽しみください!!



<p>本件が該当する目標</p>	  
------------------	---

記者発表票 (記者発表) 資料配布)			
発表年月日	令和6年1月11日	担当地方機関	丹波篠山市
電話番号・内線	079-552-5112 内線563	担当課	地域振興課
広報担当者(発表者)	市民生活部 次長兼地域振興課長 前中 斉	事務担当者	神田文彦
同時発表先	無・有 ()		
件名	第22回「安全・安心な丹波篠山をつくる」市民の集いについて		

犯罪や交通事故のない明るく住みよいまちづくりを実現するため、第22回「安全・安心な丹波篠山をつくる」市民の集いを開催します。

市民の集いにおいて、「丹波篠山市民の警察官賞」をはじめ「丹波篠山防犯功労賞」等の各種表彰状の授与や、兵庫県警察音楽隊による演奏も行います。

つきましては、ご多忙中申し訳ございませんが、取材の方、よろしくお願ひします。

記

1. 日時：令和6年1月20日(土) 13時45分から15時40分頃
2. 場所：四季の森生涯学習センター 多目的ホール
3. 主催：丹波篠山市・篠山防犯協会・丹波篠山交通安全協会・篠山警察署



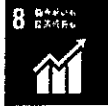



第 22 回
「安全・安心な丹波篠山をつくる」
市民の集い

と き 令和6年1月20日（土）午後1時45分～

ところ 四季の森生涯学習センター 多目的ホール

～ 主 催 ～

丹波篠山市 篠山防犯協会 丹波篠山交通安全協会 篠山警察署

本件が該当する目標			
			

記者発表票 (記者発表・資料配布)			
発表年月日	令和6年1月11日	担当地方機関	丹波篠山市
電話番号・内線	079-552-5112 内線563	担当課	地域振興課
広報担当者 (発表者)	市民生活部 次長兼地域振興課長 前中 斉	事務担当者	神田 文彦
同時発表先	無・有 ()		
件名	丹波篠山市多文化共生推進基本方針 (案) のパブリックコメントの募集について		

丹波篠山市多文化共生推進基本方針は、国籍や民族、生活習慣などの互いの文化や背景を尊重し、共に支え合い、誰もが安心して住みやすい多様性が活かされた、豊かで活力ある多文化共生社会の実現を目指すため策定します。

この度、本方針の策定に際して、丹波篠山市パブリックコメント手続き条例に基づき、みなさまからのご意見・ご提案をいただきたく、パブリックコメントを募集します。

いただいたご意見は、市の考えを整理して、後日ホームページなどで公表します。

1 募集対象：丹波篠山市多文化共生推進基本方針 (案)

2 募集期間：令和6年1月22日 (月) ～令和6年2月21日 (水)

3 提出資格：市内在住、在勤、在学、または市内で活動や事業を営む方、市に対して納税義務を有する方、本方針 (案) に利害関係のある方

4 提出方法：任意の様式に意見、住所、氏名等を記入の上、地域振興課へ
 ○郵送：〒669-2397 丹波篠山市北新町41 地域振興課あて
 ○FAX：554-2332
 ○電子メール：siminkyodo_div@city.sasayama.hyogo.jp

5 資料の閲覧：本方針 (案) は、丹波篠山市役所第2庁舎地域振興課及び各支所窓口、市ホームページからも閲覧することができます。

6 提出意見の取扱い：次の事項について公表を行います。

1. 提出意見の概要
2. 提出意見へ回答 (但し、個別意見への直接回答は行いません)
3. 本方針 (案) を修正した場合における修正内容

※提出いただきました意見の原稿などは返却しませんのでご了承ください。

丹波篠山市多文化共生推進基本方針（案）について

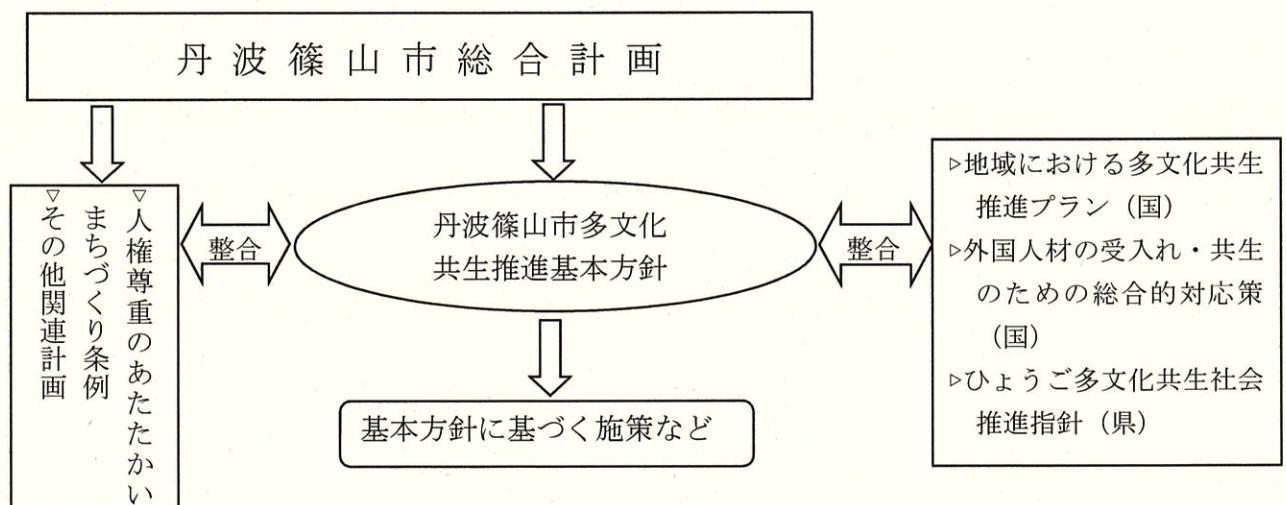
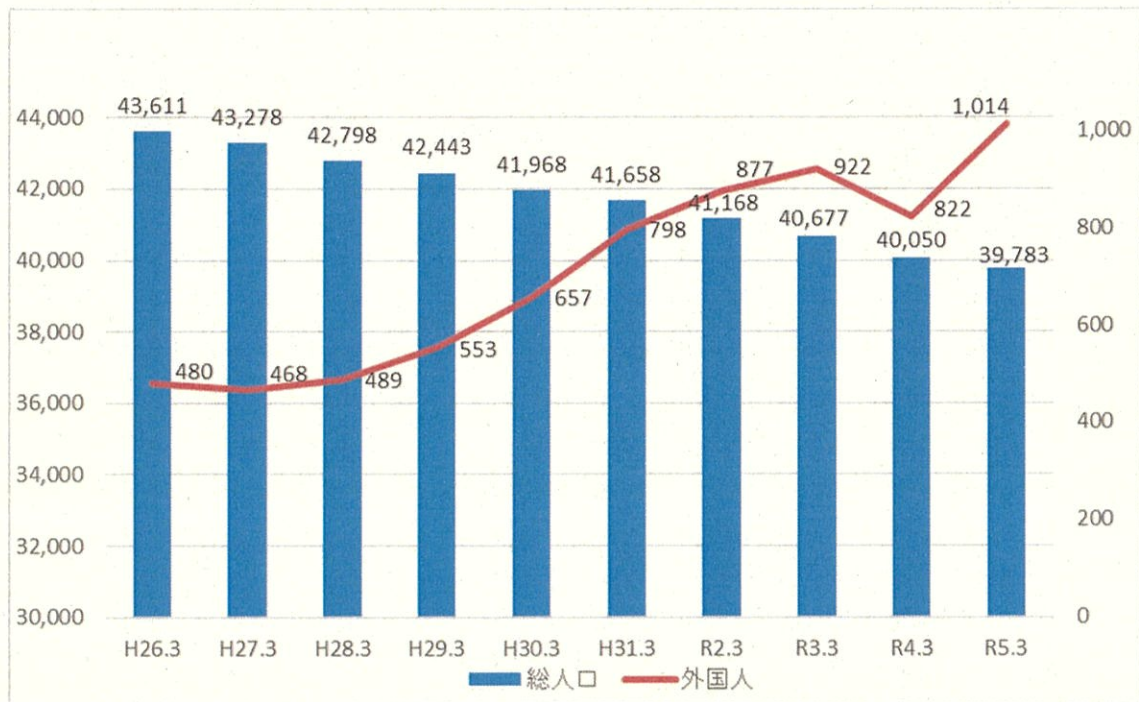
1 基本方針策定の趣旨・位置づけ

令和5年3月末現在、外国人市民数は、31ヵ国1,014人で市総人口の約2.5%となり、外国人市民の増加、多国籍化に伴い、様々な課題が顕在化してきており、外国人市民に対する配慮や支援が必要となっています。

国籍や民族、生活習慣などの互いの文化や背景を尊重し、共に支え合い、誰もが安心して住みやすい多様性が活かされた、豊かで活力ある多文化共生社会の実現を目指すため、基本方針を策定します。

なお、本方針は、「丹波篠山市総合計画」に則するとともに、国の「地域における多文化共生推進プラン」や県の「ひょうご多文化共生社会推進指針」を踏まえ、関連する各種個別計画との整合を図ります。

参考 丹波篠山市の総人口と外国人人口の推移（人）（住民基本台帳：各年3月末）



2 丹波篠山市多文化共生推進基本方針策定委員会について

- ・令和5年 9月19日 第1回策定委員会を開催
- ・令和5年11月21日 第2回策定委員会を開催
- ・委員会委員（7名）

- ①日本以外の国籍を有する者又は国籍にかかわらず外国に文化的背景を持つ者 2名
- ②外国人を雇用する企業等を代表する者又はその企業等の推薦を受けた者 1名
- ③外国人が居住する自治会の代表者 1名
- ④NPO 法人篠山国際理解センター 2名
- ⑤市民公募による者 1名

3 基本方針策定にあたって見えてきた丹波篠山市における課題

- ・言語の壁を乗り越えるための日本語を学習する場の拡充
- ・多文化理解の向上を図るための交流ができる場の設置
- ・外国人市民に対するわかりやすい情報の伝達、提供
- ・相談窓口体制の充実

4 丹波篠山市多文化共生推進基本方針の施策体系

国籍や民族、生活習慣などの互いの文化や背景を尊重し、共に支え合い、誰もが安心して住みやすい多様性が活かされた、豊かで活力ある多文化共生社会の実現を目指します。

(1) コミュニケーション支援

日常生活において、地域で暮らす人とのコミュニケーションが図れなかったり、行政サービスなどの必要な情報が得られなかったりする場合があることから、「円滑なコミュニケーションへの支援」、「日本語及び日本文化・習慣に関する学習支援」を体系的に進める。

①円滑なコミュニケーションへの支援

- ・生活支援通訳ボランティア派遣（委託）
- ・納税相談通訳ボランティア派遣（委託）

②日本語及び日本文化・習慣に関する学習支援

- ・日本語教室「うりぼう」「うりぼうファミリー」（委託）
- ・学習支援教室「うりぼうくらぶ」（委託）

(2) 暮らしやすさの向上

教育や子育てなど、生活には、家族構成やライフステージ等によってさまざまな側面があるため、これらにかかわる制度を利用し、安心して生活できるよう支援する。

①情報提供の多言語化

- ・丹波篠山市生活ガイドブックの多言語化
- ・ごみの分別方法及び市指定ごみ袋の多言語化

②多言語による相談体制の充実

- ・外国人市民支援の相談事業（委託）

③福祉・医療・子育て

- ・丹波篠山市生活ガイドブックに保健福祉・医療・子育ての情報を掲載
- ・緊急通報における「多言語通訳システム」及び救急現場における「救急ボイストラ」、「外国人情報収集シート」等の活用

④教育

- ・外国人児童生徒母語通訳・翻訳及び初期日本語指導（委託）
- ・外国人幼児に対する母語通訳・やさしい日本語支援（委託）
- ・地球っ子・地球市民プログラム（委託）

⑤防災

- ・丹波篠山市生活ガイドブックに避難所等の情報を掲載
- ・多言語指さしボードの作成

(3) 多文化共生を推進する地域づくり

市民がお互いの文化や背景を尊重し、共生、協働するまちづくりを進める。

①地域社会に対する意識啓発

- ・人権啓発冊子の作成

②外国人市民の地域活動への参画促進

- ・外国人市民共生会議の実施

③国際感覚の醸成と多文化理解の向上

- ・姉妹都市交流
- ・多文化交流サロン
- ・外国語指導助手（ALT）による交流活動

(4) 多文化共生推進体制の強化

多文化共生を推進するにあたり、関係課、関係団体と連携、協働を進めながら、推進体制の強化を図る。

①庁内の連携

- ・庁内関係課連絡会議

②地域社会との連携・協働

- ・NPO 法人篠山国際理解センターとの連携・協働
- ・自治会・事業者・関係機関等との連携

5 今後の主な取り組み(新規分)

- ・市ホームページに外国人向けサイトを多言語化と「やさしい日本語」で開設
- ・生活上必要な行政情報・生活情報について、多言語と「やさしい日本語」で発信
- ・市役所内での外国人相談窓口の開設
- ・交流の場（多文化交流サロン）の実施
- ・医療通訳体制の構築に向けた支援体制の整備
- ・企業や自治会等に交流を促進する補助制度の創設
- ・市職員への「やさしい日本語」研修

6 今後のスケジュール

- | | |
|-----------|--------------------|
| 令和6年1月22日 | パブリックコメントの募集 |
| ～2月21日 | (HP及び広報紙2月号に掲載) |
| 令和6年3月 | 計画の策定 |
| 令和6年4月 | 計画の周知 (HP及び広報紙に掲載) |
| 〃 | 計画に基づく施策実施 |

丹波篠山市多文化共生推進基本方針（案）

丹波篠山市

令和6年1月5日

令和5年度 ベースボールクリニック in 丹波篠山の開催について

【目的】

高校野球の未来を考える「高校野球200年構想」に基づき、「次の100年」に向けた行動計画に定める小中学生向けの野球事業に取組み、子どもたちの野球ができる環境を整える取り組みを実施する。

今後、丹波篠山市において、野球を中心とした「循環型」の持続可能な仕組みを構築し、野球を通じた地域活性化に取り組めます。

【主催】

一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟・丹波篠山市・丹波篠山市教育委員会

【高校野球200年構想（振興）】

野球経験者に競技を継続する振興

小中高連携野球教室及び指導力向上研修会

【内容】

日時：令和6年2月3日（土）13時00分～16時30分（受付時間：12時30分）

会場：篠山市立篠山中学校（丹波篠山市東沢田224番地）

・グラウンド

【対象者】：約90名

【高校】3校：約30名（硬式野球部・軟式野球部）

県立篠山産業高等学校・県立篠山鳳鳴高等学校・県立篠山東雲高等学校

【中学校】5校：約30名（軟式野球部）

篠山市立篠山中学校・篠山東中学校・丹南中学校・西紀中学校・今田中学校

【小学校】5チーム：約30名

篠山市少年野球連絡協議会

篠山少年野球団、篠山東少年野球団、味間少年野球団、西紀少年野球団、

今田少年野球団

【メニュー】

使用球：軟式ボール

道 具：中学校の野球道具を使用

12時30分 受付

13時00分 開会式（20分）

13時20分 キャッチボール 担当：中学校指導者
※投球フォーム、スローイング指導

13時40分 守備練習（50分）
※4グループ各ポジションで守備練習を実施
Aグループ：内野守備 ※担当：高校指導者
Bグループ：内野守備 ※担当：中学校指導者
Cグループ：外野守備 ※担当：中学校指導者
Dグループ：バッテリー ※担当：高校指導者

14時30分 休憩（10分）

14時40分 打撃指導（20分）
テーマ「どんな投手にも対応できる打てる打者の育成を目指して・・・」
丹波篠山市スポーツ振興官 長澤宏行

15時00分 打撃練習（60分）
※4グループで各メニューを実施
Aグループ：シャトル打ち ※担当：中学校指導者
Bグループ：テニスボールフリー ※担当：中学校指導者
Cグループ：ロングティー打撃 ※担当：高校指導者
Dグループ：打撃基礎 素振りを中心にスイング軌道の確認 ※高校指導者

16時00分 レクレーション（30分）
・ベース間リレー（出身中学校単位でチーム）
・ストラックアウト（各チーム代表選手）

16時30分 閉会式

丹波篠山市教育委員会社会教育部
社会教育課スポーツ振興係 辻川貴志
Tel.079-552-5769

『高校野球200年構想』

高校野球の未来を考える「高校野球200年構想」を協議してきた日本高校野球連盟、朝日新聞社、毎日新聞社の3者は16日、「次の100年」に向けた行動計画と具体的な24事業を発表した。阪神甲子園球場で行う夏の全国選手権の外野席有料化などによる入場料収入の一部を費用にあて、今年度から取り組む。

この日あった日本高野連の評議員会で定款を変更。就学前児童や小中学生向けの野球事業もできるようになった。記者会見した八田英二・日本高野連会長は「少子化に加え、中学生以下の小さな子どもたちが野球をできる環境がなかなかない。これを打破し、野球の底辺を広げていきたい」と語った。

行動計画では、野球未経験者にアプローチする「普及」、野球経験者に競技を継続してもらう「振興」、故障によって競技を離れる人を減らす「けが予防」、指導者や選手の技術向上を目指す「育成」、目標を達成するための「基盤作り」を5大目標に掲げた。

今後は日本高野連に新設された「高校野球200年構想推進委員会」が、高校生と小中学生との交流イベントの開催や肩ひじ検診の実施、公認スポーツ栄養士の派遣といった事業の展開を検討していく。

具体的な24事業は、目標達成のために選定した。幼児向け野球教室やけが予防講習会など9事業はリーディングプロジェクトとし、優先的に実施する。事業は日本高野連、朝日・毎日両新聞社の3者を中心に進めるものと、都道府県高野連が主体となるものに分けた。

■高校野球200年構想の5大目標と24事業

【普及】

・《子ども向けティーボール教室の開催》

- ☆《200年構想のプレーボールイベント開催》
- ☆《ティーボール用具を都道府県連盟に配布》
- ☆《ちびっ子ベースボールフェスティバルの開催》
- ☆幼稚園、小学校の教諭向けに講習会を開催

【振興】

・《小中学校との連携事業》

- ☆《基礎知識を伝える野球冊子の作製、配布》
- ☆小中学生のための野球教室の開催
- ・高校生と小中学生の交流イベントの開催

【けが予防】

- ・《けが予防講習会の開催》
- ・高校生対象の肩ひじ検診の実施
- ・小中高生対象の継続的な肩ひじ検診の実施
- ☆けがの予防やセルフチェックのための手引書、DVDを製作
- ・野球手帳の製作

【育成】

- ・栄養講座の開催や公認スポーツ栄養士の派遣
- ・審判委員の育成
- ・指導者の育成
- ☆栄養指導のモデル作り
- ☆体作りを支援するコンディショニングノートを作製、配布
- ・選手の育成

【基盤作り】

- ・《都道府県単位の協議会設立》
- ☆《情報共有のためのシステム作り》
- ・関東、近畿などのブロック単位の協議会、連絡会の開催
- ☆市町村単位で作る協議会のモデル事業

(事業欄の《 》内はリーディングプロジェクト、☆は日本高野連、朝日、毎日の3者主体事業、・は都道府県連盟主体事業)